

Python コーディング規約

2015/11/18

Version 1.3

1. 命名規則

● 変数

全て小文字にして、単語と単語の間にはアンダーバーを入れる (snake case).

(ex: variable_name)

グローバル変数は基本的に使うべきでないが、もし使うのであれば g_ のプレフィックスをつける. (ex: g_global_var_name)

● 定数

python では定数はサポートされていないが、慣習的に値を変えない変数は k で始まり、単語の先頭を大文字にして続け、定数のつもりで書く. (ex: kConstantName)

● クラス

全ての単語の先頭を大文字としてつなげる (pascal case).

(ex: ClassName)

● メソッド

変数と同様とする.

● パッケージ, モジュール

変数と同様とする.

● 例外

全ての単語の先頭を大文字としてつなげる (pascal case).

特別な接尾辞は付加しない.

(ex: ExceptionName)

● ファイル名

全て小文字にして、単語と単語の間にはアンダーバーを入れる (snake case).

また, Python のソースコードの拡張子は .py とする.

(ex: file_name.py)

2. スタイル

- **インデント**

スペースのみを使い、半角スペース 4 文字分とする。

環境によって見え方が変わることを防ぐため、コードにはタブを使用しないようにする。

- **1 行の長さ**

最長 80 文字程度とする。

- **1 ファイルの最大行数**

特に指定はしないが、極力短くするべきである。

3. その他規則

- **エンコード**

UTF-8 の文字コードを使用する。

また、全てのファイルに以下のエンコーディング宣言を入れる。

```
# -*- coding: utf-8 -*-
```

- **文字列の引用符**

Python では、シングルクォーテーションで囲まれた文字列とダブルクォーテーションで囲まれた文字列は同等であるが、ダブルクォーテーションで一貫性を持たせて使用する。

- **object の継承**

どのクラスも継承しないクラスは、必ず object を継承するようににする。

プロパティの適切な動作に必要であるためである。

4. 参考文献・URL

[1] 「Google Python Style Guide Revision 2.59」

<<http://google-styleguide.googlecode.com/svn/trunk/pyguide.html>>

(2015/10/15 アクセス)

[2] 「PEP 8 — Style Guide for Python Code」

<<http://legacy.python.org/dev/peps/pep-0008/>>

(2015/10/15 アクセス)